

㊦ トラックの音から

今でこそ国道 369 号線と呼ばれる道になり、榛原から先も 2 車線の区間が増え、舗装されたり、新しいトンネルができたりして走りやすくなっていますが、私が神末小学校に着任したころはひどい道でした。そんな中を木材を満載したトラックが町に出ていきました。まだまだ木材不況などといった言葉が聞かれなかったころのことです。村には活気があふれていました。

学校も同じことでした。「さあ、仕事をいったん終えて帰宅、夕食後もう一度来て仕事をしよう」そんなことがときどきありました。それは、この年から実施された新しい学習指導要領に基づく道徳の研究を進めていたときでした。指導書には、説話、紙芝居、スライドなどの教材例があげられ、奈良からおいでになる〇指導主事からはこうした適切な教材を自分で作り出そうといった指導を受けていました。

村内外の先生方にも来ていただく研究会で授業を公開することになった私は「ふるさとを愛する心」を主題に取り上げることにしました。誰に聞いても「なんの取り柄もない村だ」ということでしたが、町からやってきた私には、この村の良さがいっぱい見えたのです。

私を取り上げようとしたのは、あるお年寄りから聞いた、「わしら若いとき、学校林に木を植えたんだ」という話でした。そのころの校長先生が、この村の将来の夢づくりとしてみんなの手で植林しようと呼びかけられたことから始まった学校林をつくる取り組みでした。

これを教材にしよう、新しい教材で、新しい教育のスタートを、そんなことを考えた私は、テープレコーダーを担いで帰りました。いつも風呂を入れてもらいに行く S さんの家を訪ねました。7 インチのオ

ープンリールのテープがセットされた重い重いテープレコーダー、今のように電池で働くようなものではなかったのです。

「こんな物の前で話したことはない」

とおっしゃる古老に昔の思い出を語ってもらいました。訥々(とつとつ)とした語り口の中に村を愛する心が満ちていました。トラックの音を録るために学校の前の道まで長い長い電源コードを延ばしました。道端にテープレコーダーとマイクを置き、力強いトラックの音を手に入れました。

これを録音構成にまとめることにしました。音源は、古老のお話とトラックの音、それに、必要に応じて挿入する自分の話とBGMです。静かになった放課後の教室に、2台のテープレコーダー、音楽の時間に使っていた電蓄、放送室から外してきたマイク、これは使えそうだと思うレコードを並べ、仕事に取りかかりました。プロデューサー、ディレクターからアナウンサーまであらゆる仕事を1人でという態勢では、もう少し手と指が欲しいと思いました。

山の夜明けの情景を完璧に表現していると思うミハリエリス作曲の「森の鍛冶屋」の出だしをテープに入れました。レコードの音量をしだいに下げていきながら、

「山の夜明けです。東の空がしだいに明るくなって来ます」

とアナウンス。トラックの音を入れながら、

「きょうも私たちの村・神末から木材を満載したトラックが出ていきます」

と録音、トラックの音を繰り返して入れ、3台のトラックが出ていく様子に構成しました。

「今、こんなにして村から出ていく木材は、いつごろどんなにして植えられたのでしょうか」

こんなアナウンスの後、おじいさんとの一問一答を入れました。

中学校時代から、ラジオだとか放送の仕事が大好きで、高校では放送部に入っていた私、この学校に勤務しているときにアマチュア無線局 J A 3 C G N を開局した私です。私の自信作でした。今だったら、当然コピーをしておくところでしょうが、全く残っていません。道德の学習資料の戸棚に入れたことは確かなのですが。そのころ、録音テープそのものが貴重品で儉約していても生活費がやっと、実家から仕送りを受けている先生が多いという時代、まさかテープレコーダーが個人で買えるような時代が来るとは思いもせず、コピーをとっておくなんて考えもしなかったのです。後に、生駒南中学校で作ったビデオによる教材テープ数本の並んだ本棚を見上げながら、「あれをなんとかして残していたらなあ。あの隣に入れられるのに」と、今も残念に思っています。

さて、いよいよ発表会の日、村内の学校の先生がおいでになりました。私にとっては初めての対外的な研究会でした。あの時の子どもたちの元気な発言を思い出し、録音構成に静かに耳を傾けてくださった先輩の先生方を今もうれしく思い出します。

その後も、視聴覚教材を生かした授業にのめりこみ、生駒南中学校では、いっしょに勤務した Y 先生がこうしたことに堪能であったこともあって、今度はビデオで理科の教材テープを作りました。

- 二乗に比例する関係…グラフにすることによって、ある量 b が a の二乗に比例する関係を見つけ出す方法を考えさせるものです。細切れのカットをつなぐために動かしたり止めたりを繰り返したために機械が熱くなったことを思い出します。
- 上皿てんびんの使い方…物体の質量を測定したり、一定量の物質を量り取ったりする方法をていねいに説明したものです。今、見直

しても結構いけるじゃないかと悦に入っています。

- 電流計と電圧計…電圧計は電流回路に並列に、電流計は直列に接続しなければならないこと、直流用と交流用があり電流の種類によって使い分けることを説明し、レンジの切り替えや目盛りの読み方などを解説したものです。



- 日食観測の記録…科学クラブの子どもたちで観測した部分日食の記録です。これは、奈良県放送教育研究会やNHK、県教育委員会の主催で行われた放送コンテストで優秀賞を受賞し、テレビで放送されました。凝り性のY先生の選んだBGMが今も耳に残っています。

これらの撮影には、新しく買ってもらったそれぞれのカットとカットがきれいにつながるという最新型のビデオレコーダーを使いました。しかし、カメラは借り物でした。日食の記録には乳白色の下敷きをフィルターにしたところ、太陽がオレンジ色に写り、大成功だと喜びました。しかし、こんなフィルターでカメラを太陽に向けたという冒険はすごいものです。なんといってもこのカメラは給料の何か月分にもあたる値段だったのですから、カメラが壊れたら一体どうするつもりだったのでしょうか。